

富田碎花 タガハ 詩人、歌人。明治二十二年十一月十五日岩手縣生乳
昭和五十九年十月十七日歿。(八九一―九益)。本名戒治郎。筆名丁。日
本大學殖民科卒。初の歌作、のち詩に轉じた。〈民衆詩派〉詩人。

著譯書『悲しき愛』(大正元年九月十六日岡村益花堂)、詩集『未白
頌』(大正四年四月十一日岡村益花堂)、カヤペンタツ詩集『民主々
義の方へ』(譯、大正五年二月二十四日大森堂書房)、ウオールト・

ホキツトマン詩集『草の葉(第一卷)』(譯、大正八年五月二十一日
大鏡閣)、『カヤペンタツ詩集』(譯、大正九年七月十一日新潮社
「泰西名詩選集」)、『解放の藝術』(大正十年五月二十五日大鏡

閣)、『富田碎花詩集』(大正十年十二月五日新潮社「現代詩選」)、
ホイツトマン他『泰西社會詩人選集』(白鳥蒼吾共譯、大正十一年一
月十日日本評論社出版部)、詩集『登高行』(大正十二年七月二十五

日京都・更生閣)、同『宇拓く者』(大正十五年十一月二十日同人
社)、『文藝講座・第一卷』(合著、日本放送協會關東支部編、昭和
二年四月十一日博 文 館「ラヂオ講座」)、『現代詩人全集・

第十卷』柳澤 健集『富田碎花詩集』(昭和五年六月十日新潮社)、『歌風土記・
兵庫縣』(昭和二十五年十一月一日兵庫・神戸新聞社)、詩集『ひま
ばえのうた』(昭和四十五年二月一日兵庫・ひまばえのうた刊行会)、

W・ホイツトマン詩集『草の葉』(訳、昭和四十六年十一月二十日ラ
ラ社)等。

